



2012 年 10 月 29 日（月）
国際青年環境 NGO A SEED JAPAN

**社会的責任に関する公開アンケートを金融機関に送付
～再生可能エネルギー、原子力発電事業への投融資等を問う～**

国際青年環境 NGO A SEED JAPAN（事務局長：岸田ほたる、以下 A SEED JAPAN）は、国内 219 の金融機関（金融持株会社 4 社、地方銀行 106 行、労働金庫 13 金庫、信用金庫 96 金庫）に対して、社会的責任に関する公開アンケートを送付しました。

A SEED JAPAN では、預金・投資先を選ぶ際に、利便性や健全性だけでなく、「環境・社会配慮への取組み」も一つの基準として金融機関や金融商品を選択するという「エコ貯金」を 2003 年より提唱し、普及に努めております。そうした活動の一環として、これまでも大手金融機関を中心に公開質問状および公開アンケートの送付を行っており、昨年度においては 192 の金融機関に向けて公開アンケートを送付し、29 の金融機関より回答を頂きました。

また、昨年度は国内金融機関が中心となって「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則」が策定されました。現在、多数の金融機関が署名を行い、持続可能な社会に向けての取組みを推進していこうという意思表示を行っています。

こうした動きを受け、この度のアンケートでは、社会的な取組み・商品の具体例や実績のほか、今まさに社会的課題となっているエネルギー問題に関連して、再生可能エネルギー・原子力発電事業に対する金融機関の取組み、融資方針を伺っており、市民が金融機関を選ぶ指標となるものとしたいと考えております。

＜設問項目の概要＞

1. 21 世紀行動原則について：	「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則」への署名の有無、今後の方針等について伺っています。
2. エネルギーに関する取組みについて：	再生可能エネルギーに関する投融資、個人向け商品の有無、実績、今後の方針等について伺っています。
3. 環境に配慮した取組みについて：	温暖化防止や生物多様性の保護などに対する投融資、個人向け商品の有無、実績について伺っています。
4. 地域経済の発展と社会的事業に関する取組みについて：	震災復興、地域経済の発展、社会福祉、NPO 法人向け融資といった、地域性・社会性の高い取組みについて伺っています。
5. 社会的課題への対応について：	社会的に問題とみなされる事業への融資制限や、原子力発電事業および発電設備製造に関する融資方針について伺っています。
6. 情報公開への取組みについて：	一般市民向けに情報公開を行っている媒体について伺っています。
7. 預金者に向けてのメッセージ：	金融機関から預金者に向けてのメッセージを伺っています。

※詳細については以下のウェブサイトをご参照ください。

URL：<http://www.aseed.org/ecochoco/questionnaire/questionnaire12.html>

■本プレスリリースに関するお問い合わせ

国際青年環境 NGO A SEED JAPAN（担当：岸田ほたる、梅本一成）

〒160-0022 東京都新宿区新宿5-4-23 TEL 03-5366-7484 FAX 03-3341-6030

E-mail：ecochokin.info@gmail.com URL：<http://www.aseed.org/>（A SEED JAPAN）